２０２４年度　保育内容等の自己評価チェック集計結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保育の理念・保育観 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| １ | こども１人ひとりの人権を尊重している | ８５％ | １５％ |
| ２ | 児童福祉法の理念に基づき、こどもの最善の利益を考慮してこどもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命と理解している | ８５％ | １５％ |
| ３ | 自分の保育がこどもの障がいの基礎を培う、きわめて重要な役割を担っていると認識して保育をしている | ８５％ | １５％ |
| ４ | 保育園の保育が養護と育成が一体となって行われる、ということを意識して保育している | ８５％ | １５％ |
| ５ | 入園している園児の保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識している | ７１％ | ２９％ |
| ６ | こどもの性差や個人差にも留意しながら、固定観念や性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮している | ５７％ | ４３％ |
| ７ | 日頃からこどもに身体的苦痛を与えたり精神的苦痛を与えることがないようにしている | １００％ |
| ８ | 個人情報の保護に配慮し、こどもやその家庭についての秘密を正当な理由もなく漏らすことがないようにしている | １００％ |
| ９ | 育児の考え方について保護者と食い違っているとき、相手の気持ちを受け止め、保護者の考え方を理解するよう努めている | １００％ |
| １０ | 家庭の状態は多様だという考え方の上で、今その子に何が必要かを見極め適切な援助をしている | ４３％ | ５７％ |
| １１ | こどもが集中しているときは、保育の内容や流れに変更が生じても危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っている | ４３％ | ５７％ |
| １２ | こどもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶ事の重要性を理解し、楽しんで保育をしている | ５７％ | ４３％ |
| １３ | 1人ひとりのこどもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができる | ２９％ | ５７％ | １５％ |
| 合計 | ７３％ | ２６％ | １％ |
| 保育内容〈保育計画・指導計画〉 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| １ | 「保育所保育指針」を読み、参考にして指導計画を作成している | ４０％ | ６０％ |
| ２ | 指導計画(年・月・週・日案)の作成をし、計画性をたて、あらかじめ見通しをもった保育をしている | ４０％ | ６０％ |
| ３ | こども1人ひとりの発達の姿や、興味の対象の実態を把握して指導計画を作成している | ８０％ | ２０％ |
| ４ | 指導計画には、こどもの意欲を誘う環境構成が十分に工夫されている | ６０％ | ２０％ | ２０％ |
| ５ | 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解したうえで指導計画を作成している | ４０％ | ４０％ | ２０％ |
| ６ | 園の保育理念や方針、目標、指導理念などを指導理念の中に取り入れるようにしている | ４０％ | ６０％ |
| ７ | 季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画の中に取り入れるようにしている | １００％ |
| ８ | 作成した指導計画が実際のこどもの姿、興味、関心にあっていなかったという視点から、自分の保育の評価反省をしている | ４０％ | ６０％ |
| 合計 | ５５％ | ４０％ | ５％ |
| 保育内容〈０歳児の保育〉 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| ９ | 登園時のこどもの健康観察を行っている | １００％ |
| １０ | 1人ひとりのこどもの出生時の状況、その後の発育・発達などの成育歴を把握するとともに、保護者の状況(背景)も理解している | １００％ |
| １１ | 調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、こども1人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認しあっている | １００％ |
| １２ | 授乳について、その子が欲しがるときに優しく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませている | １００％ |
| １３ | 離乳食は家庭と連携をとりながら、1人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫している | １００％ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １４ | その子にとって初めての食品を食べさせた時は、皮膚や便性に異常がないか観察している | １００％ |
| １５ | おむつ交換は「気持ちいいね」など優しく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性などを確認している | １００％ |
| １６ | 赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、微笑み、要求に応じる言葉を優しく返している | １００％ |
| １７ | こどもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたり、健康増進を図るようにしている | １００％ |
| １８ | 喃語にはゆったりと応えたり、優しく話しかけたりして、発語の意欲を育んでいる | １００％ |
| １９ | 絵本を見せながらその子の指すものに答えたり、優しい言葉を添えたりして、やりとりを楽しんでいる | １００％ |
| ２０ | どんな状況でも赤ちゃんの笑顔や、しぐさをかわいいと感じることができる | １００％ |
| ２１ | 自分の服装、頭髪、爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮している | １００％ |
| ２２ | 寝返りできない乳児を寝かせる時には仰向けにし、睡眠中の姿勢、布団、呼吸の確認をしている | １００％ |
| ２３ | 1人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調を把握したうえで睡眠時間を調整する柔軟性をもっている | １００％ |
| ２４ | 連絡ノートを活用するなどして、保育園以外でのこどもの様子も把握するように努めている | １００％ |
| ２５ | こども1人ひとりの個人差を尊重、把握して保育している | １００％ |
| 合計 | １００％ |
| 保育内容〈１，２歳児の保育〉 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| ２６ | 登園時のこどもの健康観察を行っている | ２５％ | ５０％ | ２５％ |
| ２７ | こども1人ひとりに温かい分かりやすい言葉で穏やかに話しかけている | ２５％ | ７５％ |
| ２８ | その子の背景に配慮しながら、その子の気持ちを満たすなど、個別対応の努力や工夫をしている | ５０％ | ２５％ | ２５％ |
| ２９ | 「これなあに」「どうして」などの繰り返しの質問に、忙しい時でもできるだけその都度応えるようにしている | ７５％ | ２５％ |
| ３０ | 探索行動が十分行えるよう、安全に配慮し環境を整えたうえで、こどもが要求する行動を認めることができる | ５０％ | ５０％ |
| ３１ | 着替えや食事の時に、その子に応じた手助けや言葉がけをし、時間を要しても自分でやろうとする気持ちを大切にする | ５０％ | ５０％ |
| ３２ | 食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、自分で食べる意欲を育てる為に、楽しい雰囲気で食事をすることを大事にしている | ５０％ | ５０％ |
| ３３ | おもちゃの取り合い等のケンカの際、危険がないように配慮しつつ、こども達の心の動きを考えながら見守っている | ５０％ | ５０％ |
| ３４ | 「なんだろう」「これで遊ぼう」などの好奇心や興味を引き出す材料や素材、場を用意する気配りをしている | ２５％ | ７５％ |
| ３５ | 自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その達成感を味わえるよう配慮している | ５０％ | ２５％ | ２５％ |
| ３６ | 散歩の際は保育者も一緒に楽しみ、植物や虫、動物などから興味を見つけ出し、こども達とともに関心をもっている | ７５％ | ２５％ |
| ３７ | こどもと会話するときに、その子の目線に合わせてゆっくり話を聞き、こどもの話したい気持ちや伝えた喜びを共有している | ５０％ | ５０％ |
| ３８ | 自分の表情に配慮しながら、こどもにわかるように、ゆっくりはっきり穏やかに、具体的な分かりやすい言葉で話しかけている | ２５％ | ７５％ |
| ３９ | 「絵本を読んで」「遊んで」と言われた時、場面に応じて待ってもらう場合は、理由をしっかりと伝えるようにしている | ２５％ | ７５％ |
| ４０ | 歌を歌ったり、リズムをして体を動かすとき、こどもと一緒に楽しみながら取り組んでいる | ５０％ | ５０％ |
| ４１ | 自分の思い通りにならず怒ったり泣いたりする子に対し、丁寧に話を聞かせ気持ちを切り替える時間を取っている | ５０％ | ５０％ |
| ４２ | こども1人ひとりの個人差を尊重、把握して保育をしている | ５０％ | ５０％ |
| 合計 | ４６％ | ４７％ | ７％ |
| 保育内容〈行事〉 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| ４３ | 園が従来から続けてきた行事について、その行事を行う意味を十分に考えてから保育に取り組んでいる | ８５％ | １５％ |
| ４４ | こども1人ひとりが楽しみながら取り組み、自分達の力が発揮できるような行事内容にしている | ４３％ | ５７％ |
| ４５ | こども達にとって、その時期や季節にしか味わえないような体験となるように行事に工夫を凝らしている | ７１％ | ２９％ |
| ４６ | こども達が期待をもって行事に参加できるように、期待を膨らませていく保育を行っている | ７１％ | ２９％ |
| ４７ | 行事に参加することを嫌がる子には、その気持ちを汲み取り、その子が活躍できる場面を用意するようにしている | ５７％ | ２９％ | １５％ |
| ４８ | 行事がこどもの生活や遊びから発展していくように、日々の保育の積み重ねの結果となるよう心がけて保育をしている | ４３％ | ５７％ |
| ４９ | 保護者や地域住民に協力をしてもらう行事については、事前にその趣旨を説明し、理解や協力を得ている | ５７％ | ４３％ |
| ５０ | こどもも保護者も期待を膨らませる行事には、自分も自ら喜んで、余裕をもって参加している | ５７％ | ４３％ |
| 合計 | ６０％ | ３８％ | ２％ |
| 保健活動・安全管理 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| １ | 健康観察でこどもの健康状態をある程度判断することができる | ４３％ | ５７％ |
| ２ | こどもが活動しやすいように、その都度保育室の換気や温度、湿度に配慮している | １００％ |
| ３ | その子の体調の些細な変化や異常に、速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態を把握するように努めている | ８５％ | １５％ |
| ４ | こどもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な処置ができるように日頃から学習をしている | ２９％ | ７１％ |
| ５ | 睡眠中のこどもの顔色、呼吸の状態を確認するなど、SIDS等への予防に努めている | ８５％ | １５％ |
| ６ | 日頃から虐待の早期発見を心がけ日々保育をしている | ８５％ | １５％ |
| ７ | 棚などからの落下防止、ピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように保育室の安全点検と、整理整頓を毎日行っている | ５７％ | ２９％ | １５％ |
| ８ | 地震や火災などに備え、非常災害時に自分が何をしなければいけないかを理解している | ７１％ | ２９％ |
| ９ | 不審者が侵入してきた場合に備えて、こどもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけて保育をしている | ７１％ | ２９％ |
| 合計 | ７０％ | ２７％ | ３％ |
| 食育 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| １ | こども1人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしている | １００％ |
| ２ | 給食の食べ具合など必要に応じて保護者に知らせている | １００％ |
| ３ | その子の発達に応じての食べ方、スプーンやフォークの持ち方などを指導している | ８５％ | １５％ |
| ４ | こどもが楽しく食べることができるよう食事への工夫をしている | ７１％ | ２９％ |
| 合計 | ６８％ | ２８％ | ４％ |
| 保護者との連携 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| １ | 園での様子を伝え家庭での様子を聞く中で、こどもの育ちを保護者と一緒に考え、共に喜び合うことができる | ８５％ | １５％ |
| ２ | その日のこどもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎えの時に、保護者に丁寧に伝える様に努めている | １００％ |
| ３ | 保護者から悩みや心配事を話してみたくなるような、一緒に考えてくれる存在になるように保護者との関係をつくれている | ４３％ | ５７％ |
| ４ | 保育に批判的な保護者であっても対立せず、意見や要求を聞こうとする姿勢がとれている | １００％ |
| ５ | 連絡帳の内容を、保護者が理解しやすく楽しみにできるように書いている | ８５％ | １５％ |
| 合計 | ８３％ | １４％ | ３％ |
| 保育士としての役割・資質向上 | よくできいる | ほぼできている | 努力が必要 |
| １ | 欠勤したときの出来事や連絡注意事項は、自分から尋ね理解するなど、職員間の連携に努めている | ７０％ | １５％ | １５％ |
| ２ | 自分のクラスの教材や備品を、責任もって毎日点検管理することができている | ４３％ | ５７％ |
| ３ | 自分のクラスのものでなくても、教材・教具等の管理が不十分であれば自ら進んで整えるようにしている | ７１％ | ２９％ |
| ４ | 保育士としての責務・誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めている | ７１％ | ２９％ |
| ５ | 自分の保育をふりかえり、問題点や課題を見つけることができている | ５７％ | ４３％ |
| ６ | 自分の保育に対する批判や意見を謙虚に聞き入れ、時には反省することができている | ７１％ | ２９％ |
| ７ | 保育をする中で生じた疑問や悩みを、会議などの場で相談・説明することができている | ４３％ | ４２％ | １５％ |
| ８ | その日のこども1人ひとりの様子を把握し、こどもの姿や活動を記録にとどめることができている | ５７％ | ４３％ |
| ９ | こども1人ひとりの課題を見つけ、ケーススタディー(分析・検討・積み重ね)をすることができている | ４３％ | ４２％ | １５％ |
| １０ | 保育の疑問や悩みを解決するために、研究・専門書などを見つけ、そこから学ぶことができている | ４３％ | ５７％ |
| １１ | 他のクラスの保育について、疑問や感想意見を、お互いの向上のために素直に述べることができる | ５７％ | ４３％ |
| １２ | 自分から積極的に研修を見つけ参加することができている | １５％ | ７０％ | １５％ |
| １３ | 園の保育理念(保育方針)を理解把握して保育を行っている | ４３％ | ５７％ |
| 合計 | ５３％ | ４０％ | ７％ |
| 総合計 | ６８％ | ２９％ | ３％ |

 　小規模保育所の認可を受け3年目となりました。保育者1人1人が自信を持ち、保育、こども1人ひとりについて考え行動することができているように感じられます。しかしながら、近年保育のあり方も変ってきていて、集団で考えない、個々を尊重した保育のあり方に対応していくため、試行錯誤をしていることも事実にあります。どうすれば新しい時代に沿った、より良い保育になるのか。「集団でみんな一緒に」を得意としていたベテラン保育者も保育のあり方を考え直す１年になった様に感じました。新しい時代の保育が始まったばかり。悩んでは反省し、よりよい保育を作っていく保育者であるためにために、年に１度のこの自己評価が大切になっていくのではないかと感じました。個々の考え方や立場等によってこの評価の回答内容は変わってきますが、来年度以降もこの自己評価を意識して保育ができるように心がけていきましょう。

　【よくできている】【ほぼできている】の回答については引き続き保育に生かしていき、今回は【努力が必要】と回答している項目について、園長の考えをもとに考察していきます。

**保育の理念**

【よくできている】７３％

【ほぼできている】２６％

【努力が必要】１％

　保育の理念・保育観については高い評価となっていました。昨年度に引き続き、保育者と保護者の関り方について意識して関わることができているようです。その中でも比較的評価が低かったのは〈1人ひとりのこどもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができる〉という所でした。これは、保育をする上での主とサブの役割や適切な距離、連携がうまく行き届いていない所があったのだと感じました。保育は個人でするものではなく、同じクラスのパートナーとの連携が非常に大切です。１人で反省するのではなく、クラス間で共有して問題解決にあたることができるよう、日々話し合っていけるようにしていきましょう。

**保育内容〈保育計画・指導計画〉**

【よくできている】５５％

【ほぼできている】４０％

【努力が必要】５％

　保育計画と指導計画についても、比較的高い評価となりました。中でも〈季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画の中に取り入れるようにしている〉は１００%でしっかりと意識できていることがわかりました。低かったのは〈複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解したうえで指導計画を作成している〉という項目でした。これは保育観の回答と同様にクラスによって評価に差が見られるため、クラスによってはパートナーとの話合いが足りていなかったようです。話合いができているクラスとできていないクラスに差が出てしまっているのは、普段から一緒にクラスを作っているという意識の違いなのではないでしょうか。話合いをする時間を設ける事はもちろん大切ですが、先ほども記述したように、まず、一緒にクラスを作っているという意識をしっかりともって保育をしていくようにしていきましょう。

**保育内容〈０歳児の保育〉**

【よくできている】１００％

【ほぼできている】０％

【努力が必要】０％

　こちらについては非常に高評価となりました。０歳児クラスの担任は２年目の０歳児ということもあり、昨年度評価が低かったところをしっかりとふりかえり、改善できていたことがよかったのではないでしょうか。できていなかったところを反省し生かすことのできた１年となったことを嬉しく思います

**保育内容〈１，２歳児の保育〉**

【よくできている】４６％

【ほぼできている】４７％

【努力が必要】７％

　１，２歳児の保育については〈散歩の際は保育者も一緒に楽しみ、植物や虫、動物などから興味を見つけ出し、こども達とともに関心をもっている〉がよくできていたようです。しっかりとこども達と同じ目線で保育ができているようです。よくできている５０％で努力が必要５０％と正反対になってしまった項目が〈探索行動が十分行えるよう、安全に配慮し環境を整えたうえで、こどもが要求する行動を認めることができる〉でした。できている人とできていないと感じる人の保育の違いは何か？と考えると、「こうしたらどうなるか？もし○○をしたらどうなるか？」という一歩先の危険を予知できているかどうか、というところなのではないでしょか。常に万が一を考えて保育をできるようにしていきましょう。

**保育内容〈行事〉**

【よくできている】６０％

【ほぼできている】３８％

【努力が必要】２％

　行事はみんなよく考えて取り組めていることがわかりました。園が従来から続けてきた行事について、その行事を行う意味を十分に考えてから保育に取り組んでいてくれ、さらに、良くないところはみんなで話合い改善し、年々良い行事内容に発展できているところが素晴らしいと感じました。また、お誕生日会では、お誕生日の子にとって特別な一日になるように、午前のお誕生会の時間だけで終わらないようにを意識して取り組んでくれていました。１日を通して特別だと感じられるお誕生日会をぜひ続けていって欲しいです。

**保健活動・安全管理**

【よくできている】７０％

【ほぼできている】２７％

【努力が必要】３％

　保健活動については、こどもが活動しやすいように、その都度保育室の換気や温度、湿度に配慮していたり、こどもの様子を見てすぐに体調の変化に気づくことができるようになっているように感じます。それは、登園時に前日や朝の様子について、しっかりと保護者から聞き取りをし、変ったところがあれば園全体で共有し、クラス担任だけでなく全体で見るようにできているためだと思います。家庭との連携をしっかりとし、情報を共有していくことで、園だけでなく、家庭での体調の変化も親御さんが気づきやすくなるという利点をしっかりと理解してこれからも続けていってほしいと思います。

**食育**

【よくできている】６８％

【ほぼできている】２８％

【努力が必要】４％

　食育では〈給食の食べ具合など必要に応じて保護者に知らせている〉と〈こども1人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしている〉が１００％でした。食べられる食事量や、苦手な食材は１人ひとり違います。個々に配慮した給食を楽しんで食べることで、少しづつ食べられる物や食べる量が増えていくようにしていきたいですね。

**保護者との連携**

【よくできている】８３％

【ほぼできている】１４％

【努力が必要】３％

　こちらも高評価となりました。前述したように、保護者との連携の大切さをよく理解してくれているようで、どの保育者もみんなしっかりとこども達の普段の様子から、家庭での様子などを聴き取りできているようでした。また、普段から保育園としての考え方もしっかりと伝えられているため、保育に批判的な保護者も見られることなく納得してお子様を預けていってもらえていることも大きいかと思いました。これからも続けていってほしいと思います。

**保育士の役割・資質向上**

【よくできている】５３％

【ほぼできている】４０％

【努力が必要】７％

　今回課題が見つかったのはこの項目なのではないかと思います。できていると感じた人とできていないと感じた人の差が大きかったように感じました。できていないと感じた人は何が問題であるか、どうすればいいのかの段階で迷ってしまい先に進めていないようです。１人では出せない答えも、人に聞くことで解決するかもしれません。考えてもうまくいかないと感じたら周りに相談してみましょう。会議などで相談することも大切ですが、問題をひと月持ち越してしまうのはよくありません。問題があったらすぐに相談する癖をつけ、お互いにスキルアップできるようにしたいですね。

**統計**

【よくできている】６８％

【ほぼできている】２９％

【努力が必要】３％

　全体的に昨年度とほぼ変わらない数値となりました。前年度の課題と見比べると、できていたと思っていたところが反対にできていないと感じている人もいたようです。今までの保育であれば「望ましい対応」とされてきていたところが、近年の保育の変化にともなって、新たな問題にぶつかっているようにも感じました。常に園、保育者が新しい考えを取り入れ、今の時代の保護者、今の時代のこども達をしっかり受け入れ保育していくことが大切だと感じます。

|  |
| --- |
| 1. 分析＝想像する、考える
2. 検討＝ではどうすればいいか
3. 積み重ね＝その事柄についてアクションをおこす

　　　　↓１．分析に戻るこの繰り返しを行わなければ良い方向に進んでいかず、足踏み、または後退してしまうこともあるこのケーススタディーの繰り返しが＝こどものことを見るということになる |